

学校給食食材の測定結果について

福島県立いわき養護学校

本校では、東京電力福島第一原子力発電所事故の発生を受け児童生徒等の安全・安心確保のため、学校給食における放射性物質について検査を実施していますので、その結果をお知らせします。

1 検査方法

NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータによるスクリーニング検査

2 測定機械

EMF211型ガンマ線スペクトロメータ(EMFジャパン株式会社製)

3 測定下限値

20Bq/Kgとしますが、20Bq/Kg未満で当該食材ごとの検出下限値以上である場合、参考値として測定値を記載します。

※本校はセシウム134、137の単純合計が20Bq/Kgを超えた場合、その食材は給食に使用しないこととしています。

4 検査結果

※1「検出せず」とは、測定値が0または検出下限値未満であることを示します。

カッコ内の数値は検出下限値を示します。

※2 1食材あたりの計測は20分(1200秒)を基本とし、検出下限値は測定に要する時間や食材の内容により変わります。

検査年月日	食材名	産地名	測定結果				備考
			セシウム134	検出下限値	セシウム137	検出下限値	
H29.11.1	生揚げ	福島県	検出せず	(<4.70)	検出せず	(<4.19)	
	こんにゃく	福島県	検出せず	(<4.66)	検出せず	(<4.16)	
	ねぎ	茨城県	検出せず	(<4.91)	検出せず	(<4.38)	
	鶏もも肉	岩手県	検出せず	(<4.76)	検出せず	(<4.25)	